

# 積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和3年6月2日 No. 11 文責：佐野紳二

## 楡形地区親睦球技会 仲間との交流が深まりました

28日（金）に楡形地区の4小学校が一堂に会し、親睦球技会が行われました。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったこの大会、今年も例年会場として使用していた楡形総合体育館が予防接種会場となり、使用できないことから、当初は開催自体を断念しなければならないか…という意見がありました。しかし、何とか6年生のために球技会を開催したいという人の努力のおかげで、楡形中学校体育館を会場としてお借りし、感染症対策を徹底して実施することができました。

今回の球技会への取り組みを通して、6年生のバレーボールの技能はとても上手になりました。でも、それだけではなく、仲間と協力すること、うまくいかないときにも「ドンマイ」と言って励まし合うこと、多くの人が6年生の球技会を支えてくれていることなど、多くのことを学んだとおもいます。また、感想発表でKさんが言っていたように、他の学校の多くの仲間と交流ができたことも、大変貴重な経験だったと思います。是非、今回の球技会で学んだことを、これからの学校生活にも生かして行ってほしいと思います。



## あいさつ運動の取り組み 児童会による「評価」も始まりました

毎朝、学校西側の校門のところで登校指導をしていると、登校してきた子どもたちが「おはようございます」と元気にあいさつをしてくれます。そのうち、半分くらいの子は、私が声をかける前に進んであいさつをしてくれます。いろいろな理由があってあいさつできない日もあるかと思いますが、やはり子どもたちが元気な声であいさつをしてくれると、それだけでとても嬉しい気分になり、「今日もがんばろう！」という気持ちになります。今週から、児童会によるあいさつ運動の評価も始まりました。（毎日更新されるようです。昨日よりも今日のほうがチューリップの花が増えていました（^^♪ 可視化されているのでとても分かりやすい）是非、全部の学年がきれいなあいさつの花を咲かせるように頑張ってくれるといいな、と思います。



## 全国学力・学習状況調査

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた全国学力・学習状況調査(以下全国学調)が、先週の木曜日(5月27日)に2年ぶりに実施されました。

全国学調は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを主な目的として2007年から(途中、中止されたり抽出調査になったりしながら)実施されています。6年生にとっては初の全国的なテストということで、子どもたちはだいぶ緊張しているようでした。

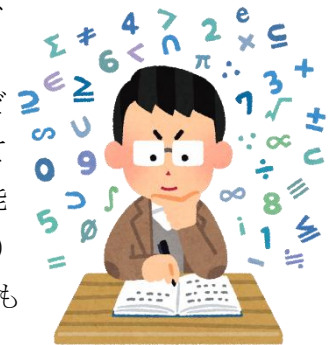
今回の結果は、後日一人一人に個票のかたちで渡されるほか、全国や県での結果が集計され、公表されることになっています。

(写真はテスト前の説明の様子です)



### 子どもたちに求められている力が大きく変わっている

保護者の皆さんの中には、今回行われた全国学力学習状況調査の問題を見た方、あるいは実際に(今回でなくても過去に)問題を解いたことがある人がきっといらっしゃると思います。(ない方は、新聞やスマホでも見つけることが可能なので、是非一度挑戦してみてください。中学校の問題でも結構です)あるいは、県立高校の前期試験の問題をご覧になったことがある方もいるのではないのでしょうか。そうした経験のある方は、その時、どんな感想を持たれたのでしょうか?きっと「昔、自分たちが受けていたテストの問題と、ちょっと違うぞ」なんて感じた方が少なくないのではないのでしょうか。これにはもちろん理由があり、一言でいうと「私たちの時代と今の時代では、子どもたちに求められている学力が違う」からなのです。これまでの日本で求められてきた学力は「いかに多くのことを覚え、それを正確に再現できるか(=知識・技能の量)」だったのに対し、今の日本で求められている学力は(知識・技能に加えて)「思考力・判断力・表現力」といわれる力なのです。(加えて、自ら学び続ける力も必要だと言われています)



### 思考力・判断力・表現力って、何?

辞書を見ると、こんな説明が書かれています。

思考 : 考えること。経験や知識をもとにあれこれと頭を働かせること。  
判断力 : 物事を正しく認識し、評価する能力。  
表現力 : 感情や思考などを伝達可能な形式に表す能力。

これだけだと何とも分かりにくい感があるので、別の説明も見てみます。鳴門教育大学大学院の泰山裕准教授は、思考力・判断力について次のように説明しています。

「比較する」「分類する」「関連づける」という考えるための具体的な技法を、状況に応じて適切に活用し、問題解決できる力

つまり、今まで学習したことや自分で調べたことなどを比較したり、分類したり、関連づけたりしながら、これまでに経験したことのない問題を解決していく力、そしてそのやり方を他者に分かるように伝える力が「思考力・判断力・表現力」ということになるようです。(以下、次号へ続きます)